ながつま昭さんの引き続きの支援を地域で確認！

5区エリアマネージャー　治田桂四郎

長妻昭さんを、前回に続いて、引き続き国政に送り出す運動を支援することに関して、５区の会員の方々の同意を得ましたので、報告させて頂きます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

同時に、長妻昭さんから「政策理念」が提出されましたので、合わせてご報告致します。

都民の会の皆さんへ

練馬区　長妻　昭

いつもご支援ありがとうございます。政策の概要をまとめてみました。ご意見を賜りますようお願い申し上げます。ご意見を送信頂ければ幸いです。

ＦＡＸ　０３－３９９３－２８３２まで

【ながつま昭の政策理念】

■日本の未来を官僚の手から私たちの手に取り戻す

～１円の税金も無駄には使わせない～

現在、日本では政策の重要決定は利権を追求する一部の国民と手を結んだ官僚の主導で進められ、一般国民の声を代弁するはずの政治が機能していない。それが国地方合わせて５００兆円という国家予算の７倍以上の借金が膨らむ原因だ。

なぜ、政治家は官僚に引きづられてしまうのか。それは政治家の誕生に官僚が深く貢献しているからに他ならない。選挙の際に官僚の影響力がある利権団体から政治家が多大の支援を受けているからである。

政治に本来の役割を取り戻させるために、私は、官僚及び官僚の支配下に置かれる利権集団からの一切の支援を受けず、理念・政策を訴えてカンパとボランティアで活動を続けます。そして議席を獲得した際には、下記の政策の実現に全力で取り組むことを約束致します。

□１。「密室　から　公開」

安全保障、警察の捜査情報など一部の例外を除き、国に「例外なき情報公開制度」を確立する。その情報を国民に開示するかどうかの判断は官僚ではなく、裁判所に委ねる。

□２。「官営　から　民営」

官の仕事の中で民営化できるものは民営化に踏切り、官は防衛、外交、全国標準、司法など民になじまない業務だけを残す。特殊法人、公益法人なども同様。

それぞれの分野で民営化のプログラムを策定し、コスト削減とともにサービスの質の向上を目指す。本来、官よりも民に任せた方がサービスの質は向上する。

□３。「提供者重視　から　生活者重視」

世界一の公共事業大国に象徴される、国民のニーズより政治家、官僚のニーズを優先させる国のしくみの抜本的転換。

例）阪神淡路大地震の復興での政府の取り組み＝土木工事のみ優先。整備新幹線予算大幅増＝政治家の地元選挙対策のための利益誘導。老人ホームでの小山汚職事件＝建物ばかりを優先させる補助金づけ行政。タンカー原油流出事故対応の後手＝利権の発生しない危機対応は苦手。

□４。「結果平等　から　機会平等」

日本では、市場参入規制によって、倒産を防ぎ、既存業者の利益の結果の平等を確保することが、官僚の主要な業務となっている。

この参入規制を撤廃し、結果の平等より、むしろ「機会の平等」＝だれでも市場に参入でき、その後の業績は企業努力に任せる＝を確保する。

同時に競争ルールを確立し厳守させるための司法制度の整備が重要。

□５。「一国平和　から　世界貢献」

一国の平和だけを追求するのではなく、より世界に人的、技術的貢献を進める。

外交も従来の「日本にとって損か特か」の価値基準ではなく、「世界に貢献できるか、否か」の価値基準を持つ。

□□□